

令和5年度 学内研究助成金 研究報告書

研究種目	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励研究助成金	<input type="checkbox"/> 研究成果刊行助成金
	<input type="checkbox"/> 21世紀研究開発奨励金 (共同研究助成金)	<input type="checkbox"/> 国際共同研究推進助成金
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研究課題名	米国現代文学における「女性」の表象の変遷	
研究者所属・氏名	研究代表者：生物理工学部教養・基礎教育部門 玉井潤野 共同研究者：	

1. 研究目的・内容

米国現代文学を代表する作家デイヴィッド・フォスター・ウォレスの作品を分析する。ウォレスの作品における女性登場人物が、とくに男性との関係においてどのように表象されているのかに注目する。こうした分析を通じて、男性作家であるウォレスが自らの理解しえない「他者」としての女性を描くために採用した修辭的戦略の意味を明らかにする。

2. 研究経過及び成果

デイヴィッド・フォスター・ウォレスは米国現代文学を代表する作家であり、とくに1996年に出版された長編小説『インフィニット・ジェスト』(Infinite Jest)によって、20世紀後半に大きな影響を有した「ポストモダン」文学の新たな旗手として注目された。本研究はとくに、日本における研究が遅れているウォレスの『インフィニット・ジェスト』を対象としている。

本研究の主たる着眼点は、『インフィニット・ジェスト』における女性登場人物の表象にみられるウォレスの修辭的戦略である。ウォレスは実生活において、精神的な不安定さや薬物依存などにより、とくに女性との関係において問題を抱えていた。こうした作者自身の特徴を反映して、ウォレスと同じ男性の登場人物たちの多くは、彼らが完全には理解することのできない存在である女性の影響によって衰弱するさまが描かれることが多い。男性作家であるウォレスにとって「女性」は、自らの主体性や自己性(subjectivity / selfhood)の外部にある他者であり、その他者とのかわりあいを通じて男性は何らかの形で好ましくない影響をこうむるのである。このように女性を男性にとって有害な存在、「男らしさ」を毀損する異物として描きだすウォレスの特徴は、これまでの研究でも女性蔑視的な態度として問題化されてきた。本研究では、先行研究でも焦点となっていたウォレス文学と女性の関係に光を当てるものである。

今回の助成金によって援助された期間に、きわめて長大な作品である『インフィニット・ジェスト』に関して十分に研究を進めることができた。とりわけ、ウォレスが描く女性像や、それと対になる男性的理想についてのウォレスの捉え方に着目して先行研究にはない視点を打ち出すための準備段階として、最新の文献を入手・閲覧することができた。

本研究の結果の一部は、すでに近畿大学教養・外国語教育センター紀要(外国語編)に学術論文として投稿し、掲載が予定されている。この論文では、ウォレス『インフィニット・ジェスト』を、ウォレスが大きな影響を受けた哲学者ジャック・デリダの著作『弔鐘』と比較した。『インフィニット・ジェスト』は主人公とその家族のあいだの葛藤が主たる内容である。また、デリダ『弔鐘』はとくに家族を主題とした著作であり、男女関係や親子関係が凝縮される場としての家族の意味を哲学的に問い直している。本研究では、もともと指摘されていたウォレスとデリダの親近性や影響関係についてもより具体的で踏みこんだ解釈を提示することができた。

本研究の反省点は、国内での学会に参加する旅費として申請した分の予算をほぼ執行することができなかったことである。コロナ禍がある程度沈静化したことを受けて各学会が対面開催に戻ることを想定して予算申請したが、実際にはまだオンライン開催が主であった。今後の助成金申請の際にはこの点を留意したい。

3. 本研究と関連した今後の研究計画

本研究は、今後は主に二つの方向へ発展させることを検討している。

第一に、代表作『インフィニット・ジェスト』に関する研究成果をもとにしてさらにデイヴィッド・フォスター・ウォレスについての研究をすすめる。とくにウォレスに遺作となった大作『蒼白の王』(The Pale King)は、『インフィニット・ジェスト』の延長線上にある作品であるもののまだ十分に研究が進んでいないため、積極的に扱う価値がある。

第二に、やはり米国の現代文学において特異な存在感を放つウィリアム・ギャディスの作品の分析を試みたい。とくにギャディスの『JR』は、天才的な少年が主人公であることや、米国における金融業界が舞台であることなど、ウォレスの『インフィニット・ジェスト』や『蒼白の王』とも類似性が高い。

4. 成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
近畿大学教養・外国語教育センター紀要(外国語編)	学術論文	2024年7月